

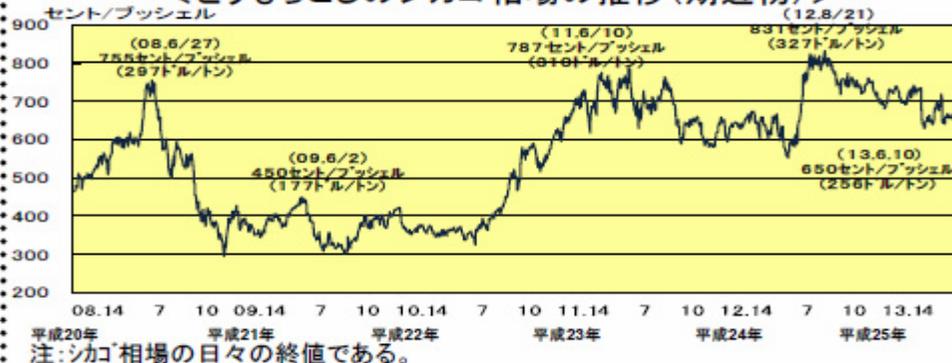
配合飼料価格への影響要因

配合飼料価格に影響を与える要因の価格動向

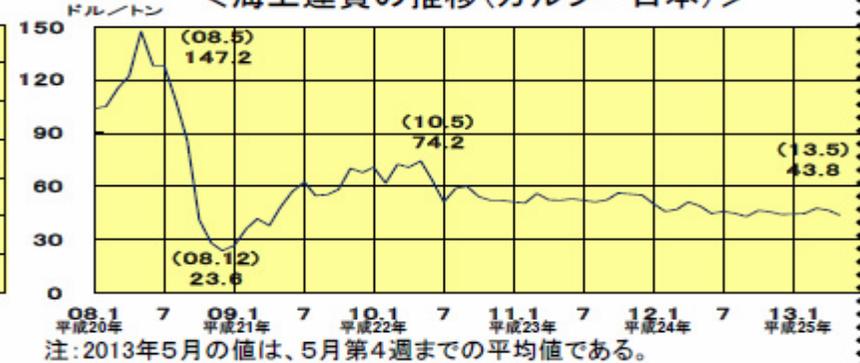
- とうもろこしの国際価格(シカゴ相場)は、平成24年6月以降、主産地の干ばつによる作柄悪化(昨年6月生産予想3.8億トン→12月予想2.7億トン)を背景に上昇。直近は、価格高騰による需要減退等により、やや弱含んで推移。
- 大豆油かすについても、とうもろこしと同様に、弱含んで推移。
- 海上運賃(フレート)は、直近では40ドル台半ば/トンで推移。
- 為替相場は、昨年11月中旬以降円安が進展し、直近では100円台で推移。

相場高騰を相殺していた為替が円安にシフトし、影響が拡大

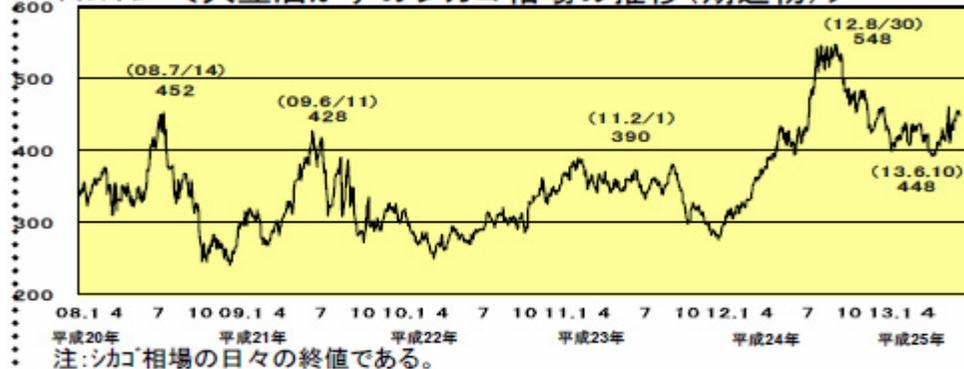
＜とうもろこしのシカゴ相場の推移(期近物)＞



＜海上運賃の推移(ガルフ～日本)＞



＜大豆油かすのシカゴ相場の推移(期近物)＞



＜為替相場の推移＞

